

#23 MOTUL Niterra Z が 3 位に入り、Z NISMO GT500 が連続表彰台 — SUPER GT 2026 第 2 戦レースレポート —

5月4日 富士スピードウェイ(静岡県)



2026 年 SUPER GT シリーズ第 2 戦が富士スピードウェイで開催されました。3 番手からスタートした#23 MOTUL Niterra Z(千代 勝正 / 高星 明誠)は、レース序盤にアクシデントに巻き込まれスピンを喫しましたが、それを乗り越えて終始安定した速さを見せて 3 位表彰台を獲得。#24 リアライズコーポレーション Z(名取 鉄平 / 三宅 淳詞)は 6 位、#12 TRS IMPUL with SDG Z(平峰 一貴 / ベルトラン・バゲット)は 7 位と、予選順位を上まわる結果で入賞を果たしました。

2026 年シーズン、恒例のゴールデンウィーク開催となる富士スピードウェイでの第 2 戦に、日産/NISMO 陣営はシーズン初優勝に向けて強い意気込みを持って、3 台の Nissan Z NISMO GT500 で 3 時間の長丁場に挑みました。開幕戦の結果により、#23 MOTUL Niterra Z に 6kg、#12 TRS IMPUL with SDG Z に 22kg、#24 リアライズコーポレーション Z に 4kg のサクセスウェイトが課されています。

【GT500】

#23 MOTUL Niterra Z が予選 3 位 好位置から勝利を目指す

予選

予選日の 5 月 3 日(日)、天候は下り坂ながらドライコンディション。Q1 開始が開始される午後 2 時 53 分、気温 20 度、路面温度 26 度でセッションがスタートしました。各車タイヤのウォームアップを行い、Nissan Z NISMO GT500 勢は 3 台ともに 5 周目にベストラップをマークしました。#23 Z の高星は 4 番手で、#12 Z のバゲットは 6 番手、#24 Z の三宅は 11 番手で 10 分間のセッションを終了。#23 Z と#12 Z は Q2 進出を果たしましたが、#24 Z はわずかに及ばず Q1 で予選終了となりました。

午後 3 時 31 分から GT500 クラスの Q2 がスタートしました。空には黒い雲が広がり始め、時折雨粒が落ちる状況ですが、路面はドライコンディションで各車アタックを開始しました。Nissan Z NISMO GT500 の 2 台はこのセッションでも 5 周目にベストラップをマーク。#23 Z の千代は Q1 のタイムを上まわる 1 分 26 秒 582 で 3 番手と、上位に名を連ねました。#12 Z の平峰は思うようにタイムを伸ばせず 10 番手で Q2 を終えました。

#23 MOTUL Niterra Z が安定した速さで 3 位 3 時間レースで Z 勢は全車入賞

決勝

5 月 4 日(月)決勝日、天候は朝方には好転し、午後 2 時にスタート時刻を迎えました。強い風と日差しが降り注ぐなか気温 24 度、路面温度 43 度のコンディションで、セーフティカー(SC)先導による 2 週のフォーメーションラップを終え、シグナルがグリーンに変わり 3 時間のレースがスタート。3 番手からスタートした#23 Z の高星はスタートポジションをキープし、安定した走りでも周回を重ねます。10 番手スタートの#12 Z バゲットは、好スタートからポジションを上げ、1 周目を 8 番手で終えましたが、激しいポジションの争いのなか 5 周目に 1 コーナーでオーバーシュートし、他車と接触。13 番手までポジションを落とすとともに、マシンにダメージを負ってしまいました。11 番手スタートの#24 Z 名取は、スタート直後の混乱でポジションを落とし、1 周目を 13 番手で終えましたが、そこからペースアップして順位を挽回し、9 周目には 7 番手となっています。14 周目の最終コーナーで、#23 Z は後続に接触されてスピンを喫し、一時コースにストップしましたが、大きなダメージなくレースを再開。#23 Z は 4 番手にダウンしましたが、のちに接触し先行したクルマにペナルティが科され、3 番手に順位を戻しています。ペースを上げる#24 Z は 15 周目に 6 番手に浮上し、ダメージを負いながらの走行となった#12 Z も 20 周目に前車をパスして 12 番手となりました。

25 周を越える頃から、GT500 クラスの 1 回目のピットインが始まりました。Nissan Z NISMO GT500 勢では、#12 Z が 31 周終了時にピットイン。#24 Z はその翌周にピットに向かい、2 台はともにドライバー交代は行わず、タイヤ交換と給油の作業のみでコースに戻りました。40 周を終えた時点で#23 Z がピットインを行い、ドライバーを千代に交代しています。46 周を終了した段階で、GT500 クラスは全車が 1 回目のピットイン作業を終え、#23 Z は 3 番手、短い時間で作業を終えた#24 Z は 5 番手、#12 Z は 9 番手を走行。レース後半に向けて、ポジションアップの態勢を整えました。47 周目、上位車にトラブルが発生しコース上にストップ。レースはフルコースイエロー(FCY)となります。この時点で#24 Z は 4 番手、#12 Z は 8 番手とそれぞれポジションアップを果たし、レースは後半戦へと入りました。

70 周を越えると、GT500 クラスは 2 回目のピット作業が始まりました。Nissan Z NISMO GT500 勢は#23 Z と#24 Z が 73 周終了時点で、#12 Z が 74 周終了時点と、ほぼ同じタイミングでピット作業を行いました。#23 Z は千代がそのままドライブを続け、#24 Z は三宅に、#12 Z は平峰にドライバーを交代しています。88 周を終える頃、GT500 クラス全車が規定である 2 回のピットインを終えると、#23 Z は 3 番手をキープ。戦略上ピットでの作業にやや時間を要した#24 Z は 6 番手、ペースを取り戻しつつある#12 Z は 7 番手で、レースは終盤戦を迎えました。

#24 Z は前車に迫り、激しい 5 番手争いを展開します。#23 Z は後続が徐々に迫るなか、その差をコントロールして 3 番手を守ります。3 時間、115 周に及んだレースで、Nissan Z NISMO GT500 勢は最後まで攻めの姿勢と安定した速さでポジションを保ち、#23 Z は 3 位、#24 Z は 5 位に 0.470 秒差の 6 位、#12 Z は 7 位でフィニッシュし、3 台が揃って入賞を果たしました。Nissan Z NISMO GT500 勢は開幕戦に続き、3 位表彰台を獲得しています。

3 時間レースという長丁場と、思わぬ強風などの影響もあり、難しい部分もあった第 2 戦でしたが、3 位表彰台と全車入賞という結果は、Nissan Z NISMO GT500 の速さと安定感を示したものとなりました。日産/NISMO 陣営は、8 月の次戦富士に向けて、シーズン初優勝を期して臨みます。

千代 勝正 選手(#23 MOTUL Niterra Z)

「交代してからは前に追いつけなかったのとにかくプッシュしていましたが、なかなかライバルのペースも速かったですね。終盤は 39 号車とのバトルになりました。そこを最後まで抑え切れたのは良かったです。最後の 2~3 周はタイヤを使い切るという気持ちでプッシュし切りましたし、お互いがフルアタック状態でした。次戦は季節が変わりますが、同じサーキットでレースができるので、今回のデータをフィードバックして、粛々とみんなで準備を進めていきたいと思えます」

高星 明誠 選手(#23 MOTUL Niterra Z)

「岡山はあまり良くない展開になってしまったので、今日は表彰台獲得をと思って取り組んできました。第 1 ステイントで接触してしまいましたが、最後の方はライバルにも離されず走ることができました。表彰台を獲得できた点は良かったのですが、手放して喜べるような状況ではありません。その結果をちゃんと受け止めて、僕たちが前進するために何が必要なのか、次の富士までの間チームとしっかり話し合って色々対策をしていきたいと思っています」

【GT300】

GT300 クラスには 4 台の Nissan GT-R NISMO GT3 と、2 台の GTA GT300 規則のフェアレディ Z が参戦。予選 6 番手からスタートした#56 リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R(ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ / 木村 偉織)が

33 周を終えて首位に立つと、そのままポジションを譲ることなく優勝を果たしました。また、13 位に HELM MOTORSPORTS GT-R、14 位に GAINER TANAX Z、15 位に健康ケーズフロンティア WM ニルズ GT-R が入賞し、ポイントを獲得しました。

【GT500決勝 結果】 115Laps

Pos	No	Machine	Driver	Time / Behind
1	36	au TOM'S GR Supra	坪井 翔 / 山下 健太	3:00' 31.710
2	14	ENEOS X PRIME GR Supra	福住 仁嶺 / 大嶋 和也	8.786
3	23	MOTUL Niterra Z	千代 勝正 / 高星 明誠	41.398
6	24	リアライズコーポレーション Z	名取 鉄平 / 三宅 淳詞	55.127
7	12	TRS IMPUL with SDG Z	平峰 一貴 / ベルトラン・バゲット	1' 23.351

【GT300決勝 結果】 107Laps

Pos	No	Machine	Driver	Time / Behind
1	56	リアライズ日産メカニクチャレンジ GT-R	ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ / 木村 偉織	3:02' 07.657
2	65	LEON PYRAMID AMG	蒲生 尚弥 / 菅波 冬悟 / 黒澤 治樹	1Lap
3	31	apr LC500h GT	小高 一斗 / 小山 美姫 / チャーリー・ブルツ	1Lap
13	62	HELM MOTORSPORTS GT-R	平木 湧也 / 平木 玲次	2Laps
14	11	GAINER TANAX Z	富田 竜一郎 / 大木 一輝	2Laps
15	48	健康ケーズフロンティア WM ニルズ GT-R	安田 裕信 / リ・ジョンウ	2Laps
19	360	RUNUP × SOL GT-R	荒川 麟 / 金丸 ユウ / 田中 篤	3Laps
26	26	ANEST IWATA GAINER Z	井田 太陽 / ジェームス・ブル / 藤原 大暉	8Laps

以上